

# BCエコネットの実用性確認試験



24年8月27日 ①



24年8月27日 ②



24年10月16日 ①



24年10月16日 ②



24年11月15日

## 試験目的

BCエコネットの実用性を確認する

## 試験作物 及び品種

長いも(品種:川西1号)

## 試験資材 及び数量(規格)

BCエコネット(角24cm×11目×180m)

## 慣行資材

今年度新規作付

## 栽培方法

播種日	収穫日
6月上旬	11月中旬
【栽植密度】 畝間:160cm ベット:80cm 株間:21cm	

## 資材使用期間

6月中旬～11月中旬

## 試験区面積

4a

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品に比べ、ネット展張時の滑りが悪いことが予測されたが、特に感じなかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

収穫作業は、11月15日から16日にかけて行われた。土壌が固い粘土質で、播種当初は畑に雑草が多く生えていたため、生育環境はあまり良くなかったが、問題なく収穫できた。

### (3)資材の優位点

反収は2,075kgと、発芽時の生え切れにより減収したが、ネットによる影響ではないと思われる。

分解性ネットは強度が弱い可能性も考えられたが、使用期間においてネットの切れ等は確認されなかった。強度が保たれつつ、分解速度が早ければ、優位性があると言える。

資材使用終了後、廃プラスチック等のコストや手間がかからないことも高評価である。

他の生分解性ネットに比べて、分解速度が早ければより優位性はあると思うので、今後も継続して観察し、実用化の可否等を判断していきたい。

## モニター感想

慣行品との差はなく、問題なかった。

## JA担当者の感想(上原氏)

現行の価格であると、ネットの処理コストがかからないことを考慮しても採算が取れないため、導入は難しい。今後、価格が低下すれば、普及する可能性はあると思う。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

強度や材質など、品質で気になる点はなかったため、安価であれば使用したい。

## 将来希望する資材について

分解が早く、安価な資材をお願いしたい。